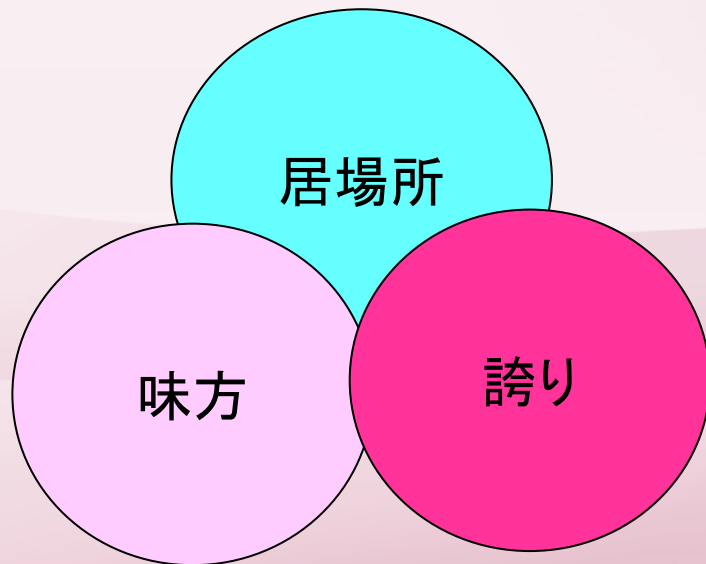


# 医療ジャーナリズム・福祉ジャーナリズム アカデミズム



朝日新聞科学部記者⇒科学部次長⇒論説委員(福祉・医療・年金担当)  
⇒大阪大学大学院ソーシャルサービス論  
⇒この大学院で医療福祉ジャーナリズム分野  
福祉と医療・現場と政策の志の縁結び係&小間使い  
ゆきさん、こと、大熊由紀子

医療福祉ジャーナリズムが、  
本来の使命をはたすために大切なのは  
虫の目・鳥の目・歴史の目・疑う目  
そして、想像力と度胸



# 疑う目

## 医学記者時代

☆1968年和田心臓移植



山藤芳夫先生の手術室で、山藤先生から和田先生、和田先生、宮崎先生、  
山藤先生と山藤先生

「ヘンだ」と直感!!!!!!!

人工心肺で蘇生??? W(°o°)w

本命は、近藤芳夫さん

専門誌に札幌医大は見かけなかった



山口義政くん



宮崎君の遺体に泣き止まず和田教授

和田教授の記者発表は、  
「3つの弁が  
3つともハシにも棒にも  
かからなかった」

**真実は、  
札幌医大宮原内科が  
「弁を1つとりかえてほしい」  
と心臓内科へ**

88日目に死去

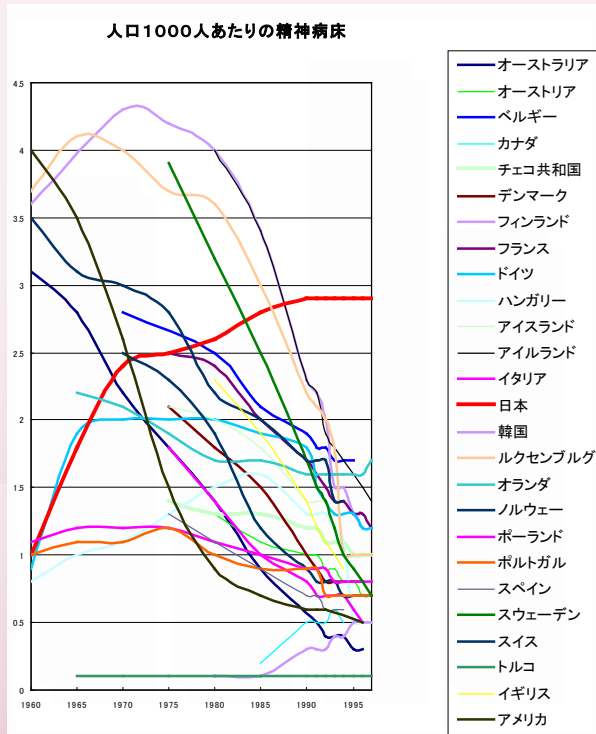
**必要なかった**

宮崎信夫くん  
の心臓移植



# 論説委員になっても 疑う目

厚生省にが何度きいても数字をださないの  
で 覚えたばかりのエクセルで



日本の人口は世界の2% ならず  
精神科ベッドはOECDの37%  
空きベッドに認知症の人を  
⇒国際常識の対極にあるもの



日本の精神病院の身体拘束  
人口あたり  
アメリカの270倍、  
オーストラリアの580倍  
ニュージーランドの2000倍

# 鳥の目

科学部デスク⇒社説を担当することに。  
当時の厚生省の最大の課題は、西暦2000年  
わが国の寝たきり老人は100万人。手本はない



1985年  
↓82庄



# 虫の目

↑  
日本  
「寝たきり老人」呼ばれ  
養老院カット

デンマーク  
独り暮らしでも自宅で暮らし、  
お洒落して外出

思い出の家具に  
囲まれた自分の部屋  
←デンマーク



デメンシアと呼ばれる人々の  
異常な行動は  
異常な環境と  
異常なケアへの  
正常な反応なのです

クリスティン・フライデン  
(オーストラリア)

ら」

「徘徊するか

と回廊式にする日本



# 「ノーマライゼーション思想」

生みの父バンクミケルセンさん  
反ナチ運動で強制収容所へ  
その体験から

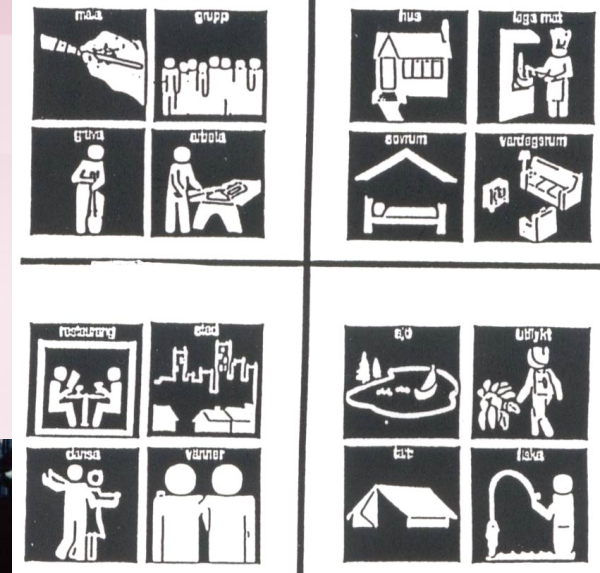
## 歴史の目

どんなに知的なハンディ  
キャップが重くても、

人は街の中のふつうの家で  
ふつうの暮らしを味わう権利  
があり

社会はその権利を実現する  
責任がある。

1959年法(デンマーク)



「ふつうの生活  
とは

ふつうの家  
仕事や生きがい  
ふつうに余暇  
友達・恋人・家族



# 当事者の身になる 想像力

## デンマークで出会った 「でんぐりがえしプロジェクト」

病気や障害を経験した人たちが、**教師役をつとめて専門家を教える**  
右側のクラウドは、人工呼吸器が必要で全介助。仕事をもち、パートナーと暮らす日々を、専門家が自宅を訪ねて学んでいました。



# 政策をつくるために

「究極の自立支援システム」  
「オーフス方式」を実現した  
・ヨーロッパ筋ジストロフィ協会会長の

## クローさんの世直し7原則

- ◆ グチや泣き言では世の中は変えられない
- ◆ 従来の発想を創造的にひっくり返す
- ◆ 説得力あるデータにもとづいた提言を
- ◆ 市町村の競争心をあおる
- ◆ メディア、行政、政治家に仲間をつくる
- ◆ 名をすてて実をとる
- ◆ 提言はユーモアにつつんで( ^ \_ ^ ) - ☆



デンマークの  
高齢者医療福祉  
3原則 1982

人生の継続性の尊重  
自己資源(残存能力)の活用  
自己決定の尊重

**1989日本に招待**

**戸井田厚生大臣と縁結び**

**シンポジウム**

**「寝かせきりゼロ」を求めて**

**包括性・継続性・市町村の権限**

**アンテルセン教授**  
専門は自治体行政  
と経済学



**アンテルセン大臣**



寝かせきりキャンペーン・1985  
 介護保険法成立・1990  
 スタート・2000

寝たきり老人の  
 いる国  
 ない国

長崎県立大学への講演

大熊由紀子

寝たきりが  
 なぜ  
 なるのか？

「寝たきり」を  
 防ぐために  
 できることは  
 ありますか？

「寝たきり」を  
 防ぐために  
 できることは  
 ありますか？

「寝たきり」を  
 防ぐために  
 できることは  
 ありますか？

「寝たきり」を  
 防ぐために  
 できることは  
 ありますか？

物語 上  
 介護保険

いのちの尊厳のための  
 70のドラマ

大熊由紀子




岩波書店

下 物語  
 介護保険

いのちの尊厳のための  
 70のドラマ

大熊由紀子



岩波書店

# 言葉をつくる・言葉を退治する

コレステロール⇒善玉コレステロール・悪玉コレステロール

終末期医療⇒人生最終段階の医療と福祉⇒人生の最終章

寝たきり老人⇒「寝かせきり」にされて廃用症候群になった犠牲者

抑制⇒縛る 特養待機者 愛煙家 ボランティアの活用・ボランティア派遣

国民負担率⇒国民連帯率・国民助け合い率

# つなぐのもジャーナリズム

週1回の「えにしメール」・年1回の「えにしの集い」・「えにしのHPの51の部屋」  
「ゆきえにし」で検索して下さると、先頭に (o^^o)

317404

えにしのページへようこそ(o^^o)(o^^o)(o^^o)

「えにし」の名の由来は、2001年6月、プレスセンターで開いて  
「新たな縁(えにし)を結ぶ会」に遡ります。

一人のジャーナリストと縁があるという、  
ただ、それだけの縁で集ってくださった分野の違う方々の間に、  
不思議な、新たな縁が結ばれ、広がっていきました。



このホームページが、福祉と医療とまちづくり、  
そして、現場と政策の新たな縁結びにつながることを願って、  
少しずつ内容を充実してまいります。  
時々覗きに来て下さいね(´-`)-☆

ご意見、お便りをお待ちしています。  
[dy00573@nifty.com](mailto:dy00573@nifty.com)へどうぞ！

大熊由紀子(朝日新聞論説委員室→阪大)  
→国際医療福祉大学大学院・佛教大学社会福祉学部

更新履歴はこちら

メニュー

私の社会保障論	2012/05/13	傷しき挑戦者の部屋-国内篇	2012/05/02
医療福祉と財源の部屋	2010/08/23	傷しき挑戦者の部屋-海外篇	2011/08/18
高齢福祉政策激動の部屋	2009/05/07	被災した方を応援するため	2012/03/19
物語・介護保険	2010/09/13	世世の人間性	2008/02/02
福祉人材/報酬-待遇の部屋	2010/02/18	100のチェックポイント	2006/01/02
選んだ場所を誇りをもって	2012/01/30	少子化・子育て・教育の部屋	2009/09/07
雑居部屋の部屋	2010/10/24	千葉・ちいき発	2008/06/23
ホスピスケアの部屋	2006/05/20		
福祉の町・秋田県鷹巣町がつり上げたもの・失ってしまったもの	2012/02/20		
		倫理と変革の部屋	2012/05/27
認知症ケアの部屋	2011/09/18	医療福祉ジャーナリズム分野 修士・博士コースへのお誘い	2010/12/19
自立生活の部屋	2007/02/02	メディアの部屋	2010/07/05
福祉用具の部屋	2009/12/08	メディアと冤罪の部屋	2012/02/20
精神医療福祉の部屋	2011/03/28	写真帳から(pictures)	2002/01/01
障害福祉政策・激動の部屋	2006/05/20	目からウロコのメッセージの部屋	2010/05/16
		シンポジウムの部屋	2011/09/05
インフォームド・コンセントの部屋	2007/07/19	“秘蔵”資料の部屋	2005/12/02
医療費と医療の質の部屋	2012/05/13	障害差別をなくすための 海外資料翻訳の部屋	2007/05/13
たばこの部屋	2009/12/04	卒論・修論の部屋	2011/08/18
くすりの部屋	2009/08/23	世界とところかわれば	2010/09/13
医療事故から学ぶ部屋	2011/02/07		
患者体験者と遺族に学ぶ部屋	2007/11/20		
		らうじん・えにし	2011/12/31
縁を結ぶ会とはじめ 2001	2002/02/22	えにしの本のエッセンス	2011/01/24
ことしもまた、縁を結ぶ会02～12	2012/05/27	ゆきの部屋	2010/05/16
えにし-イン-逢坂	2004/04/03	えにしの人々の組織にリンク	
		えにしの人々のページにリンク	2011/01/11
		お役に立ちそうなリンク	

# 人と人をつないで変える ことし第24回になった「新たなえにし」を結ぶ会。 始まりは、新聞記者時代の年賀状



ジャーナリストの「財産」は  
さまざまな分野の  
誠実な「家庭教師」たち

朝日新聞を退職したとき  
「筆まめ」に6958人  
年賀状約3000人

「えにしメール」を受けてくださる方  
18国3000人余



